

豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：平成27年5月8日（金）午後1時30分から

場 所：豊明市役所東館3階 政策審議会室

出席者：浅井委員、三浦委員、相場委員、村野委員、佐野委員、鈴木委員、近藤委員

事務局：教育長、生涯学習課長、生涯学習課長補佐、岸田専門員、神谷社会教育指導員

傍聴人：なし

1 あいさつ
教育長

2 議題

- (1) 委員長の選出について
浅井常典委員を選出
- (2) 副委員長の選出について
委員長の指名により佐野委員を副委員長とする。
- (3) 平成26年度 文化財保護事業報告について
平成27年度 文化財保護委員会事業計画について

・大狭間湿地の県指定については丘陵地からの湧水として環境が保たれていることを示すデータの蓄積が必要である。
また、東海丘陵要素の接点に位置し都心部に残された唯一の湿地としてPRしていくとよい。

・国の登録有形文化財候補について昨年4件現地調査を行ったが国の登録とした場合、今後市でどう活用するのか将来展望を考えていかなければならない。
また、市の指定とする場合についても公開の方法や管理体制を市またはボランティアで行うのかステップを踏んで考えていく必要がある。

・文化財だよりの特集記事として年に1～2回、市の指定や企画展に関わるものを取り上げるとよい。

(4) ナガバノイシモチソウ・大狭間湿地の一般公開について

- ・8月1日（土）～3日（月）のナガバノイシモチソウ一般公開のうち、1、2日は大狭間湿地の一般公開を同時に行う。
- ・公開スタッフとして豊明高校や愛知教育大学の学生の協力をお願いをし、承諾をいただいている。

(5) 視察研修について

- ・10月か11月に視察を予定する。沓掛城址の指定にむけて、浜松市の市指定史跡二俣城址を参考としたい。

その他、史跡地として磐田市内の天竜院（松井氏首塚と供養塔）、旧見付学校・旧赤松家記念館の建造物を見学し建物の保存管理、民具の活用など取り組みについて話を聞く機会を入れる。

なお、来年は自生保護地の保全活動について直接担当者から話が聞けるよう知多方面を設定したい。

(6) 壱町田湿地見学について

- ・今年も市民に豊明のナガバノイシモチソウの保護活動や希少性に関心をもってもらうため、同時期に開催する壱町田湿地（武豊町）のシロバナナガバノイシモチソウ見学会を行う。

(7) 沓掛城址の市指定について

- ・桶狭間の戦いの舞台となった全国的に有名なエリアである。地域には桶狭間の戦いと関連した3つの寺が集中しており学術的に後世に保護できるよう先づは市の指定として考えていく。今後地元の意見を取りいれながら手順を踏んでいくことが必要である。

3 報告事項

- ・愛知教育大学によるナガバノイシモチソウの調査委託について報告。
7月～10月に60回開花数の調査を行った結果2012年と比較すると開花個体数が2倍増え、掘り起こし作業による埋土種子の復元、組織培養の除去で遺伝的多様性が高くなってきている。
- ・愛知教育大学による大狭間湿地水源地調査委託について報告。
湿地の水源地確保のため昨年11月にパイプを1箇所設置し、水位変化を調べる調査を6回行った。12月3日～2月9日までの期間は常に水が満ちていることが分かり現在は他の5箇所にもパイプを増設して水位水量の状態を調査している。

4 その他

- ・市内の方より自宅で保管されていたものを処分したい旨の問い合わせあった。処分される前に見に行くとい。

次回文化財保護委員会 27年7月17日(金) 10時00分から